

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/6/30	2020/7/22	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	22,288.14	22,751.61	24,448.07	2018/10/2	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	28,538.44	25,812.88	27,005.84	29,568.57	2020/2/12	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	108.61	107.93	107.15	114.73	2017/11/6	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～根強い景気回復期待と、新型コロナウイルスの感染拡大懸念や連休中のイベントに対する警戒感に挟まれ、概ね横ばい～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+55.19円(+0.24%)、TOPIXが▲0.89ポイント(▲0.06%)となり、根強い景気回復期待と、新型コロナウイルスの感染拡大懸念や連休中のイベントに対する警戒感に挟まれ、概ね横ばいとなりました。業種別(東証33業種)でみると、電気機器、鉱業、金属製品などの11業種が上昇した一方、空運業、陸運業、鉄鋼などの22業種が下落しました。

週初の20日は、国内企業の4-6月期決算本格化や4連休を控え積極的な売買が手控えられる中、新型コロナウイルス感染症のワクチン開発への期待や日銀によるETF(指数連動型上場投資信託受益権)買入れへの期待感などから底堅く推移しました。21日は、EU(欧州連合)首脳会議において、総額7,500億ユーロの復興基金で合意したとの報道を受け続伸しました。22日は、前日の米国株市場においてハイテク株が軟調であった流れを引き継ぎ半導体関連銘柄を中心に売り先行で始めると、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることや、米主要企業の決算などの連休中のイベントに対する警戒感から利益確定売りが膨らみ、下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回	決算発表予定 他		
7月27日	Mon	中国	工業利益(前年比)	6月	+6.0%	日本 決算発表 : 7/27 中外製薬、日東電工、日立建機 7/28 オムロン、キヤノン、シマノ、フナック、信越化学工業、小糸製作所、日産自動車、日立金属、東京エレクトロ、HOYA 7/29 エムスリー、ヒューリック、三井住友FG、日本取引所グループ、東京ガス、花王、野村HD、野村総合研究所、ANAHD、LINE 7/30 アコム、アドバンテック、オリエンタルランド、パナソニック、ルネサスエレクトロニクス、三菱電機、京セラ、味の素、大日本住友製薬、大東建託、大阪ガス、太陽日酸、コマツ、小林製薬、日本M&Aセンター、日立製作所、JR東日本、東邦ガス、TDK、ZOZO 7/31 みずほFG、アイシン精機、キーンズ、コーセー、テック、マキタ、ロム、三井物産、中部電力、住友電気工業、大和証券グループ本社、小田急電鉄、小野薬品工業、日本たばこ産業、日本通運、日本電気、村田製作所、東洋水産、JR東海、清水建設、JR西日本、豊田自動織機、豊田通商、関西電力、AGC、KDDI、MonotaRO、SCSK、SGホールディングス、TOTO、Zホールディングス	
		ドイツ	IFO企業景況感指数	7月	86.2		
		米国	耐久財受注(前月比)	6月	+15.7%		
7月28日	Tue	米国	消費者信頼感指数	7月	98.1		海外 決算発表 : 7/27 LVMH モヘンシー・ルイヴィトン、SAP 7/28 アムジェン、スターバックス、ファイザー、3M、アドバンスト・マイクロ・デバイス、イー・ベイ、ビザ、マクドナルド 7/29 グラセール、ケルコム、グラクソ・スミスクライン、サファイア、スプレッドポイント、セネラル・エレクトリック、セネラル・モーターズ、ドイツ銀行、パークレーズ、フェイスブック、ペイパル、ボーイング 7/30 アップル、エルムス・インターナショナル、クレディ・スイス、ダウ、ネスレ、アストラゼネカ、アマゾン、7/31 アパレル、エアバス、クラフト・ハイテック、サムスン電子、フォルクスワーゲン、フォード・モーター、7/30 カルソニック・カンゾー、マスタートカード、ルノー、ロイヤル・ダッチ・シェル 7/31 BNPパリバ、エックスマーベル、キャピタル・グループ、シュアロン、メルク、ロイヤル・バンク・スコットランドグループ、フィアット・クライスラー
		米国	FOMC(米連邦公開市場委員会)29日まで				
7月30日	Thu	欧州	ユーロ圏失業率	6月	+7.4%		
		ドイツ	GDP(国内総生産)(前期比)	4-6月期	▲2.2%		
		ドイツ	CPI(消費者物価指数)(前年比)	7月	+0.9%		
		米国	GDP速報値(年率/前期比)	4-6月期	▲5.0%		
7月31日	Fri	日本	失業率	6月	+2.9%		
		日本	鉱工業生産(前月比)	6月	▲8.9%		
		中国	非製造業PMI(購買担当者景気指数)	7月	54.4		
		中国	製造業PMI	7月	50.9		
		欧州	ユーロ圏GDP速報値(前期比)	4-6月期	▲3.6%		
欧州	ユーロ圏CPI(除食品・エネルギー・たばこ/前年比)	7月	+0.8%				

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～日米の決算内容を見極める姿勢が強まる中、新型コロナウイルスの感染拡大や米中関係の悪化懸念が重しとなり、軟調な展開～

今週の日本株市場は、日米の決算内容を見極める姿勢が強まる中、新型コロナウイルスの感染拡大や米中関係の悪化懸念が重しとなり、軟調な展開を予想しています。

国内企業の4-6月期決算発表が本格化しますが、半導体関連企業などが堅調な半面、飲食・小売を中心にその他多くの企業は厳しい状況にあるとの認識は共有されており、個別銘柄の物色に変化はみられても、指数全体に与える影響は限定的と考えています。28-29日のFOMCでは現状の金融緩和策が維持され、株価の下支えに働くこととみられる一方、①新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、行動制限措置が課される懸念があること、②米中関係の悪化が続いていることなどは株価下押し材料になるとみられます。また、米国では大手IT企業の決算発表が予定されていますが、近く開催予定の独占禁止法を巡る議会の公聴会と併せて関連銘柄の利益確定売りが進む可能性も想定されます。

その他の注目材料として、日本では31日の失業率、鉱工業生産、米国では28日の消費者信頼感指数、30日のGDP、欧州では31日のGDP、CPI、中国では31日の非製造業・製造業PMIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。